

研究構想シート	学校名	邑南町立日貫小学校
	氏名	安部 和代
A 研究主題		
ふるさとひぬいを原点に「伝え合う」ひぬいっ子パワーの育成		
B 研究の目的		
話す・きく意欲を高める		
C 子どもの実態 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを伝える機会が少ない（全校児童6名、学年1名ずつ） ・話す力、コミュニケーション力が低い ・自主的に考え、活動することが苦手 ・個々の学力差がある。 ・素直。静かに話を聞くことができる。 ・そうじや当番活動をやり忘れない。まじめ。 ・チャイムなしでも決まった時間で行動している。 ・全校仲がよい。 ・言葉遣いが優しい児童が多い。（地域の実態） ・学校の教育活動に対して協力してくださる。 ・自然豊か、農業、文化的建造物あり。 ・ 	E 手立て・内容（研究仮説） ○毎日全校で集まる場を設ける（全校で朝の会を行う） <ul style="list-style-type: none"> ・お知らせコーナーでの伝え合う場を生かし、学習の発表や児童活動のお知らせを行えるようにする。 ○全校活動（ひぬいっ子タイム）で、話す・きく場の支援、指導を工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ・めあてを意識し、ふりかえりを自分の言葉で伝えようとする工夫 感想や反省（自分や人のよかったこと、次はこうしたいな）を伝える。 	D めざす子どもの姿 ○安心して話し、互いに理解しあえる <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを話せる ・人の考えをきく、受け入れようとする ・自分たちで活動を進めようとする ・ふりかえりを自分の言葉で伝え合える。 ・新しい考えに気付き、受け入れようとする。 ・伝え合うための語彙の獲得（語彙力を高める）
	F 検証方法 <ul style="list-style-type: none"> ・国語の目標（話す・聞く）をもとにして話す・きく姿の評価をする。 ・表現活動の場での様子や、ふりかえりから評価を行う。 ・児童の自己評価を行う。 ・児童が自主的に活動しようとしているか。 	
	G 研究計画 <ul style="list-style-type: none"> ・朝活動（全校朝の会）の内容の検討 ・ひぬいっ子タイム（朝活動の中で週二回行う、伝え合う力を高めるための時間）の内容の検討 ・各分掌での全校活動の場を研究の場とする。（例：〇〇集会、話し合い活動） ・ひぬい子ども議会、町づくりワークショップでの話し合い活動の支援について全職員で検討する。 ・全校での話し合い活動を行う。（1学期は、全校遊びの内容について） 	